

新潟職能短大からセミナーのご案内

コース番号 2H040 能力開発セミナー

「実践建築設計 3 次元 CAD 技術～SketchUp 編～」

対 象 者 : 設計業務に3次元CADの活用をお考えの方

開 催 日 程 : 令和7年7月30日(水)、8月6日(水)

時 間 : 9:30～16:30 (お昼休憩1時間)

受 講 料 : ￥8,500

会 場 : 新潟職業能力開発短期大学校 居住系 CAD 室

使 用 機 器 : PC (SketchUp)

持 参 品 : 筆記用具

■セミナー概要

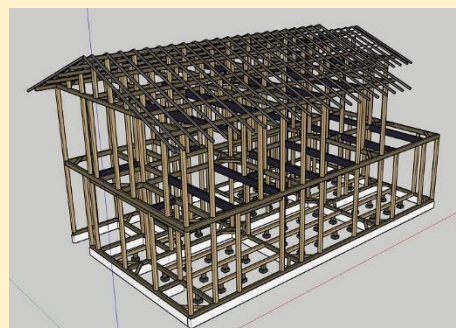
- ・「SketchUp」をはじめて操作する方はもちろん、使用していて「こういう形を作りたい。」
「基本から学びなおしたい。」と思った方におすすめです。

■セミナーのポイント

- ・木造の軸組を作成しながら基本操作を習得します。
- ・講習の最後に「SketchUp」の無料版について説明します。

■講習内容

- 1日目 ① コースの概要
② 設計図面の確認(伏図、軸組図)
③ SketchUp の基本操作
- 2日目 ④ 軸組の作成
土台、柱、梁、床 等の作成
⑤ 2DCAD との連携 (Jw_cad)
⑥ 質疑応答、まとめ



お問い合わせ先

新潟職業能力開発短期大学校 【学務援助課】

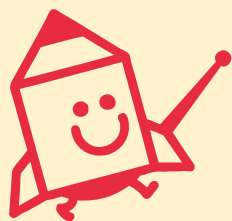
〒957-0017 新潟県新発田市新富町1丁目7番21号

TEL 0254-22-1781 FAX 0254-23-2169



*機種によっては、
読み取れない場合
があります。

セミナー情報はホームページでも <https://www3.jeed.go.jp/niigata/college/>



新潟職能短大からセミナーのご案内

コース番号 2H010 能力開発セミナー

「BIM を用いた建築設計技術（Revit 編）」

対 象 者 : BIM に興味がある方、BIM の導入を検討されている方、Revit の取り扱い初心者の方

開 催 日 程 : 令和7年8月1日（金）、8月8日（金）

時 間 : 9:30~16:30

受 講 料 : ￥8,000

会 場 : 新潟職業能力開発短期大学校 居住系 CAD 室

持 参 品 : 筆記用具、その他

■セミナー概要

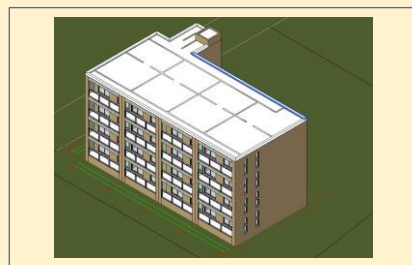
建設 DX の実現に向けて、その中核に BIM（Building Information Modeling）の推進があります。様々なソフトがあるため導入を迷われている方も多いのではないのでしょうか。まずは BIM のメジャーソフトである Autodesk Revit を体験することからはじめてみませんか。課題モデルの作成を通して BIM のプロセスを理解します。

■セミナーのポイント

BIM と CAD は似ていますが異なります。まずは BIM の基本操作について学びます。BIM は様々な情報を持った部品（Revit でいうファミリ）を配置することで作図（モデリング）を行います。3D モデルと平面図や断面図の各種図面は一体のもので、変更があれば全ての図面に反映されます。

■講習内容

- 1 日目 ① BIM の概要
- ② Revit の各種コマンド操作
- ③ Revit を用いた図形の作成練習
- 2 日目 ④ 課題モデルの作成
- ⑤ 各種図面のレイアウト



お問い合わせ先

新潟職業能力開発短期大学校 【学務援助課】

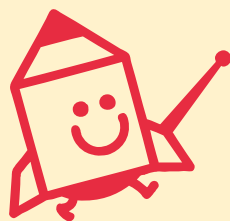
〒957-0017 新潟県新発田市新富町 1 丁目 7 番 21 号

TEL 0254-22-1781 FAX 0254-23-2169



*機種によっては、読み取れない場合があります。

セミナー情報はホームページでも <https://www3.jeed.go.jp/niigata/college/>



新潟職能短大からセミナーのご案内

コース番号 2H070 能力開発セミナー

CPD 認定セミナーとして実施予定です

「AR を活用した建築プレゼンテーション技法」

対 象 者 : AR を使用した業務に携わる方、

もしくは AR 導入をご検討されている方

開 催 日 程 : 令和7年8月21日(木), 8月22日(金)

時 間 : 9:30~16:30

受 講 料 : ￥8,000

会 場 : 新潟職業能力開発短期大学校

3 階 居住系 CAD 室

持 参 品 : 筆記用具



実際に使用する AR ゴーグルと作業イメージ

■セミナー概要

建設 DX が加速する今、次世代のウェアラブル・システム Microsoft HoloLens2 や iPhone、iPad に対応した業務用 AR/MR システム「GyroEye (ジャイロアイ)」を使い、AR・MR の基本から現場で使える実務レベルの技術までを習得して頂きます。

■講習内容

1 日目 ①AR・MR 概要、活用事例

②素材 (BIM/CIM) データの作成・準備

2 日目 ③AR・MR ビューワ基本操作

④AR/MR 実習 建築構造物編、設備施工編、土木構造物編

■セミナーのポイント

外部講師としてインフォマティクス株式会社の講師をお呼びします。

Microsoft HoloLens2 を使用し、活用方法を理解できます。

■利用ソフト:

GyroEye Holo (ジャイロアイホロ) (<https://informatix.co.jp/xr/>)

■前年度 利用者の声

実際に体験することができ、使用例がイメージできた。

体験することにより、漠然と把握していたARへの理解を深めることができた。

お問い合わせ先

新潟職業能力開発短期大学校 【学務援助課】

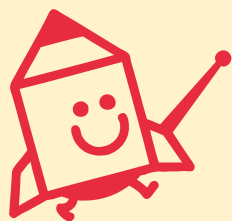
〒957-0017 新潟県新発田市新富町1丁目7番21号

TEL 0254-22-1781 FAX 0254-23-2169



*機種によっては、読み取れない場合があります。

セミナー情報はホームページでも <https://www3.jeed.go.jp/niigata/college/>



新潟職能短大からセミナーのご案内

コース番号 2H120 能力開発セミナー

「木造住宅における許容応力度設計技術」

対 象 者 : 木造建築の設計・施工に従事している方。あるいは今後従事する予定のある方。

開 催 日 程 : 令和7年8月30日(土), 9月6日(土)

時 間 : 9:30~16:30

受 講 料 : ￥11,000

会 場 : 新潟職業能力開発短期大学校 居住系 CAD 室

持 参 品 : 筆記用具、電卓

■セミナー概要

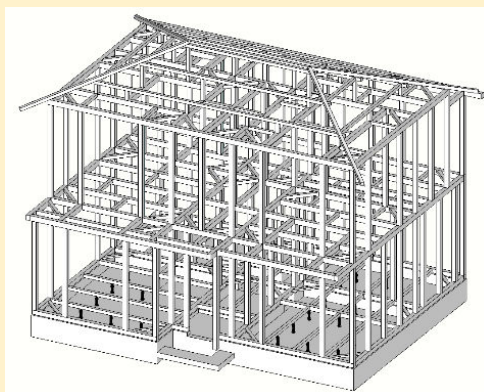
- ・木造在来構法の構造設計における安全性向上をめざして、許容応力度計算法に基づいた設計実習を通して、計算方法を理解し理論的な根拠・ポイントを習得します。

■セミナーのポイント

- ・現在の法令における、いわゆる「4号特例」を受けることができる範囲の縮小法案が令和7年度から施行される見込みです。一般的な木造2階建て住宅も、今後は構造図面一式の提出が必要になります。
- ・このセミナーでは、許容応力度計算法に基づいた設計演習を通して、基礎から実践的な構造計画、計算方法を習得します。

■講習内容

- 1日目 ① 構造計画の概要
② 荷重・外力の算定
③ 鉛直構面（耐力壁）の設計実習
- 2日目 ④ 水平構面（床倍率）の設計実習
⑤ 部材の設計実習
⑥ 質疑応答、まとめ



お問い合わせ先

新潟職業能力開発短期大学校 【学務援助課】

〒957-0017 新潟県新発田市新富町1丁目7番21号

TEL 0254-22-1781 FAX 0254-23-2169



＊機種によっては、読み取れない場合があります。

セミナー情報はホームページでも <https://www3.jeed.go.jp/niigata/college/>